

一 次の文章を読んで後の問に答えよ。

NHK教育テレビ「新にほんごでくらそう」を担当することが決まったとき、日本人と結婚して地域で暮らす外国人の女性たちに、「暮らしの中の日本語」について聞き取り調査をした。

その結果、彼女らは、日本人がよく使う婉曲的な表現を使いこなせるようになりたいとaセツ望していることがわかった。以前、東京で働く外国人ビジネスパーソンに、「ビジネスのための日本語」についてインタビューをしたことがあったが、そのときも、日本語がbタツ者な人であればあるほど、日本人の遠回しな表現を肯定的にとらえているという結果が出た。

そこで、番組のスキットには、それらの結果を反映させ、単なる敬語ではない婉曲的な配慮表現を意識的に盛り込んだ。たとえば、新聞cカン誘を断る際の「間に合っています」という表現。「他紙をとっているから」と直接的に断るのではなく、「いま十分足りている」ということを伝える柔らかな表現である。

驚いたのは番組への反応である。外国人だけでなく、幅広い年齢層の日本人から「無意識に使っていた表現の奥深さにハツとした」「日本語の良さに気づき、嬉しくなった」という感想が舞い込み、新聞のテレビ評や雑誌で取り上げられたのだ。そのことで実感したのは、日本人の日本語知らずである。「知らず」とは、正しいか正しくないかを知らないということではない。生きた日本語の機能性のすばらしさに、日本人自身の認識が欠けているということである。

これまで、外交官やEJ加盟国のビジネスエグゼクティブを中心に、九十カ国の外国人に日本語、日本文化を教えてきた。そして、その経験を通し、彼らの目に映る日本語をフィルターにして、日本社会と日本人会が見えてきた。

たとえば、「よろしくお願いします」。初対面の時に「どうぞよろしく」、締めくくりに「今後ともよろしく」、メールの最後にも必ず登場するこの挨拶は、英語には訳せない。場面に応じて意識して外国人に説明するしかない表現である。この挨拶には「一旦結んだ関係を次回まで円満につなげておきたい」という志向がみられる。偶然が重なれば、「縁がありますね」と挨拶するのも、同じ理由からだろう。

また外国人から「初めて電話した会社に『いつもお世話になっております』と言われ、初めて買った店で『毎度ありがとうございます』と言われるのはなぜ？」とよく聞かれる。これは「いつも」「毎度」と一度きりではないことをさらりとほめかし、「I」「マジック表現である。『今度遊びに来て』『今度飲もうよ』って言うのは、口だけ。実現なし」とd憤ガイする外国人には、「今は多忙だが、時間を共有したいという気持ちだけは持っている、という意味。いつとは期日を決めずに、『II』ことで、相手との関係を維持したいと願っている気持の表れ」と解説する。これらの表現は、単なるA社交辞令などではないのである。

入念に選んだ贈り物を渡しても、次の日何も言ってくれない、丸一日準備にかかったパーティをe堪ノウしてくれただけなのに、翌朝会っても「おはよう」の一言だけ……外国人に対して、ついこういう思いを抱くことがある。それは、我々日本人が「先日はありがとうございました」「昨日はご馳走様でした」と「III」習慣があるからである。こういう習慣のある国は他にはない。

相手のしてくれた行為に「わざわざ」をつけて礼を言うのも、相手の労を察し、ねぎらい、感謝するからである。この「わざわざ」も英語には訳せない表現である。昔話に恩返しの話が多いことにも、受けた恩に感謝する日本人の精神性が見られる。

受けた恩を忘れない一方で、与えた恩で相手に借りを感じさせることは嫌う。「恩着せがましい」という表現が否定的に使われることに、その特性が垣間見える。自分が入れたお茶を、「お茶が入りました」とあたかも自然に入ったかのようにすすめるのも、①押しつけがましさや控える心配りである。

あるフランス人が、利用する飛行機は日本の航空会社に決めていると言っていた。日本の客室乗務員に「便箋ある？」と聞けば、必ず封筒も一緒に持ってきてくれるが、他国の飛行機では、便箋だけが出てくるそうだ。また、ある日本人は、アメリカの飛行機で、読書ランプが故障していたので「ランプが壊れているんだけど」と乗務員に伝えたところ、「あ、そう」とBすげない返事で無視されたとのこと。「ランプが壊れている」だけでは事実を伝えているだけで、「だからどうしてほしい」まで言葉にしなないと伝わらないのが英語の文化で、「壊れているんだけど」と言うだけで修理を試みってくれるのが、②文脈に頼って察する日本語の文化なのである。

「ひとつよろしく」とか「そろそろ時間です」などの、「ひとつ」「そろそろ」も相手への配慮が込められた英語にしにくい表現である。「あれこれ頼み事を並べられた挙句「ひとつよろしく」と言われた。頼まれたこと

から一つだけ選択しろということ?」と「ひとつ」の意味を誤解する外国人が多い。しかし、この「ひとつ」は「ちよつと」という意味で、ぼかしながら控え目に相手に頼んでいるのである。「そろそろ」も、相手に時間の幅を与えながら、行動に移させるタイミングを見計らう気遣い表現である。

日本語は曖昧だと言われ続けてきた。確かに曖昧に見える要素はある。しかし、肝心なことは、なぜ曖昧にするかを把握することである。

よく見れば、日本語の機能は、粹で垢ぬけている。かつ人に優しい。③そんな日本語表現を再発見することは、成熟した大人への通行手形である。

清ルミ『優しい日本語』は粹!」による

問一 傍線部 a～e のカタカナの部分の漢字を含む熟語として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つ選んで答えよ。

解答番号 a ① b ② c ③ d ④ e ⑤

- | | | | |
|-------|-------------------|-------|-------------------|
| a セツ望 | (①切迫 ②節句 ③折角 ④接待) | b タツ者 | (①磔刑 ②卓球 ③出立 ④達人) |
| c カン誘 | (①干害 ②勸奨 ③歓談 ④勇敢) | d 憤ガイ | (①既製 ②概算 ③感慨 ④凱旋) |
| e 堪ノウ | (①頭脳 ②納入 ③懊惱 ④能力) | | |

問二 傍線部 A、B の言葉の意味として最も適当なものを次の中からそれぞれ一つ選んで答えよ。

解答番号 A ⑥ B ⑦

A 社交辞令

- ① 互いの心の交流をするために社会で交わされる言葉
- ② 社会で交際していくための最低限の言語能力
- ③ 交際の儀礼的な心のこもらない褒め言葉や挨拶
- ④ 会社内で発令される業務上の命令や指示

B すぎない返事

- ① 相手の無礼をなじる挑戦的な返事
- ② あまり意味を考えず何気ない返事
- ③ 事実の報告に対する的確で事務的な返事
- ④ 思いやりがなく素っ気ない返事

問三 「Ⅰ」ⅡⅢの中に入る言葉として最も適当なものを次の①～⑨の中からそれぞれ一つ選んで答えよ。

解答番号 I ⑧ II ⑨ III ⑩

- ① 商売上の挨拶を繰り返す
- ② 相手をその気にさせておいてはぐらかす
- ③ 相手を引き込んで縁をつなぐ
- ④ 果たせない約束をして期待させる
- ⑤ 漠然と未来に交流の場を想定する
- ⑥ 多忙のため会えない言い訳をする
- ⑦ 過去に受けた恩義をすぐに仕事の挨拶に使う
- ⑧ 過去に受けた恩恵について、もう一度礼を言う
- ⑨ 過去に受けた恩義を大切にして胸に秘めておく

問四 傍線部①「押しつけがましさを控える心配り」の説明として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

解答番号 11

- ①「お茶が入りました」という表現は、主語をお茶にすることによって人の行為を目立たないようにして、飲む人が必要以上の恩義を感じなくていいように心配りしている
- ②「お茶が入りました」という表現は、お茶がひとりでに入ったように飲む人に思わせることによって飲む人を愉快にさせて、快く茶が飲めるように心配りしている
- ③「お茶が入りました」という表現は、お茶が自然と入ったように飲む人に思わせることでかえって恩着せがましくなり、感謝なくしては茶が飲めないように心配りしている
- ④「お茶が入りました」という表現は、「お茶をくれたのは私です」ということを相手に気取られることなく自然とお茶を入れた人が感謝されるように心配りしている

問五 傍線部②「文脈に頼って察する」の意味として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

解答番号 12

- ①その時の状況や成り行きをはかり、相手の心を忖度する
- ②文章をよく読んで常に人の心の動きを洞察する訓練をする
- ③細かく指示をしないとこちらの意図が相手に歪曲される
- ④的確に表現された日本語でなくても何となく憶測する

問六 傍線部③「そんな日本語表現を再発見することは、成熟した大人への通行手形である」の説明として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

解答番号 13

- ①露骨で直截的な表現をしないと交流できない若者がふえている昨今、伝統的な日本語の美しさを若者に伝えるのが大人としての役目である
- ②相手への気配りから遠慮がちな表現や柔らかくぼかした表現などの洗練された日本語で心の交流をするところができる人が教養ある大人だといえる
- ③外国人から日本語は曖昧だと言われるが、曖昧さの理由を理解したうえ、日本語で外国人にも正確に伝えられるグローバルな感覚を培うのが大人の教養だ
- ④日本語の奥にある心配りをもっと大切にしながら、さらに日本語を磨いてその奥深さを外国人と共有できるように言語能力をもつ人が真の国際人である

二 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

そもそも、選挙とは何なのか、なぜそれが大切なことなのか。選挙権はひとつの権利なのか。それとも、投票所に行くことは義務なのか。次から次に疑問がわいてくる人もいるでしょう。

それでも、私は皆さんに与えられた権利（選挙権）を行使して欲しいと願っています。なぜそう願っているのか、少し話をしましょう。

まず、私の年齢は六〇代の半ばで、しかも政治学を専修してきました。前期高齢者のカテゴリーに属し、しかも政治学を専門としてきた学者ならば、当然、これまで有権者として何十年にわたって選挙の度に投票所に足を運んだはずだと思ってしまうでしょう。実を言うと、私は一度もそんなことをしたことがないのです。そもそも、選挙権が私にはないからです。少なくとも、日本国民には属していない私は、日本で生まれ、日本語を母語とし、戦後七〇年の大半を日本の地で過ごし、ある意味で最も「日本」的なものに馴染んでいるにもかかわらず、私は外国籍（大韓民国）の「永住者」であるため、日本では選挙権が与えられていないのです。

選挙権が欲しいなら、「帰化」して、日本国籍を取ればいいじゃないか。そう思う人もいるかも知れませんが、どうしてもそうしないのか。このことを説明するだけで、大変なスペースが必要なので、ここでは「割愛」しますが、要するに、私はあえて、この国で「人間」であることを自ら断念し、逆にそうでないことを主体的に選ぶことで、「人間」であることが当たり前の人々に、「人間」とは見なされていない隣人がいること、①それは何を意味しているのか、考えて欲しいと願っているのです。

それでは、ここで言う「人間」とは何を意味しているのでしょうか。この場合の人間とは、一言で言えば「公的な存在」として他者から、社会から「承認」を受け、人間のことです。では「公的な存在」とは何でしょうか。それは、そうではない存在によって明らかになるはずです。

たとえば、「A」の名作『ベニスの商人』の主人公・シャイロックのことを思い浮かべてください。猜疑心のaカタマリでIII守銭奴のユダヤ人。彼は市政の決まり事を決めることにbタズサわる権利を全く奪われていました。そもそも、彼には被選挙権はおろか、選挙権すら与えられていなかったのです。ひたすら、私的な領域でカネのcモウ者となって、カネの力で政(まつりごと)の世界(「公的な世界」に「現れる」人間)たちにdフク讐しようとしているような歪んだ心の持ち主です。つまり、彼は、「公的な存在」として他者から「承認」され、公的な世界に「現れる」機会をeハク奪われている、「人間」ではない人間なのです。私の勝手な解釈ですが、シャイロックの苦悩は、実は、自分が「公的な存在」であることを拒絶された人間……「人間」とは認められない人間であることの自覚から生まれているように思えるのです。そうした「公的な存在」とは認められない人間は、全的な意味で「人間」とは言えないのです。なぜなら、そこには、共同体の公共的なことがらに關与する資格が与えられず、そのメンバーであると「承認」されていないからです。

国民主権に基づく民主主義は常に、そして今も、国民共同体の内部や周縁にそうしたシャイロック的な、「人間」ではない人間を生み出し、抱え込んできました。その極限にいま、ヨーロッパをIV震撼させている「難民」という存在の問題があるのです。私は、あえて言えば、日本の植民地支配の「生きた証拠」として、これまでシャイロック的な、②「人間」ではない人間として生きることを選びました。なぜなら、私の代までは「日本人」の国民共同体の内部にそうした存在が永住していることの意味を、「人間」としての日本国民に考え続けて欲しいと願ってきたからです。

十八歳の皆さんは、シャイロックや私と違って、「人間」として他者から、社会から「承認」され、「公的な存在」として「現れる」ことができることになるのです。選挙権を行使することは、そうした「公的な存在」として「現れる」ことを意味しているのです。

そこで、私は、③「人間」ではない人間を「人間」として「承認」できる社会の到来のために、皆さんが自分に与えられた貴重な権利をフルに使うように心がけて欲しいと願っています。それは、皆さんが「人間」であることの証しでもあるのですから。

問一 傍線部a～eのカタカナの漢字を含む熟語として最も適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

- | | | | | |
|--------|------|------|------|------|
| a カタマリ | ① 硬直 | ② 堅忍 | ③ 団塊 | ④ 賢者 |
| b タズサ | ① 携行 | ② 帯同 | ③ 伺候 | ④ 抱擁 |
| c モウ | ① 妄想 | ② 猛烈 | ③ 死亡 | ④ 盲腸 |
| d フク | ① 服用 | ② 複線 | ③ 伏線 | ④ 拝復 |
| e ハク | ① 迫力 | ② 剥製 | ③ 白濁 | ④ 薄命 |

問二 傍線部Ⅰ～Ⅳの言葉の意味として最も適当なものをそれぞれ次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

- Ⅰ 帰化
- | | |
|---------------------|--------------------|
| ① 他国の国籍を得てその国民となること | ② 自分の生まれた国を祖国とすること |
| ③ 外国から祖国に帰って永住すること | ④ 祖国を捨てて外国に永住すること |

- Ⅱ 割愛
- | | |
|----------------------|---------------------|
| ① 愛する人と引き裂かれて苦しむこと | ② 惜しみながらやむを得ず省略すること |
| ③ 言いたいことを言うことができないこと | ④ 紙面が足りないので書かないこと |

- Ⅲ 守銭奴
- | | |
|-------------------|------------------|
| ① 違法な利率で金銭を貸す金融業者 | ② 人を騙して金銭を手に入れる人 |
| ③ 金を貯めることだけに執着する人 | ④ 節約をして無駄遣いをしない人 |

- Ⅳ 震撼
- | | |
|-----------|-----------|
| ① 恐ろしがること | ② 嫌悪すること |
| ③ 困らせること | ④ 揺り動かすこと |

解答番号 Ⅰ 19 Ⅱ 20 Ⅲ 21 Ⅳ 22

解答番号 a 14 b 15 c 16 d 17 e 18

問三 「A」に入る作家として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

解答番号 23

- ① アンデルセン ② トルストイ ③ セルバンテス ④ シェークスピア

問四 傍線部① 「それは何を意味しているのか、考えて欲しい」の説明として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

解答番号 24

- ① 戦前戦中の日本の帝国主義の結果が今も現実に残っていることを深く考えて欲しいということ
② 「人間」とは見なされていない隣人がいる状態を国際問題として国連に提訴して欲しいということ
③ 国民共同体の内部に異質なものが存在するのはグローバル化の証しとして喜びたいということ
④ 国民主権に基づく民主主義が正しく行われているかを国民に検証をし続けて欲しいということ

問五 傍線部② 「人間」ではない人間」の意味の説明として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

解答番号 25

- ① 外国にいる日本人で選挙の投票ができない人
② 日本人でありながら外国から帰国できない人
③ この国に永住しながら公民権をもたない人
④ 選挙法などを犯したため参政権を奪われた人

問六 傍線部③ 「人間」ではない人間を「人間」として「承認」できる社会の到来」の具体的な意味として最も適当なものを次の①～④の中から一つ選んで答えよ。

解答番号 26

- ① 一個の市民に与えられている権利が平等な価値を持ち権利の格差のない日本になること
② 日本に永住権を与えられている外国人にも日本人同様の公民権が与えられる世の中になること
③ 国際紛争などの理由で祖国を離れる難民などががもつと自由に渡航できる日本になること
④ 日本に永住権を持つ外国人に祖国と日本の二重国籍を容認するように制度が変わること

問七 次の()の中に適切な語を入れてことわざ・慣用句として完成させよ。答えは後の語群から選んで答えよ。なお()の中の番号は解答番号を示す。

- | | | | | | | | | | |
|---|------|---------|---|------|------|---|------|-------|--------|
| a | (27) | の鳴くような声 | b | (28) | の額 | c | 井の中の | (29) | 大海を知らず |
| d | (30) | 脚をあらわす | e | (31) | の生殺し | f | (32) | の尾を踏む | |
| g | (33) | の行水 | h | (34) | の涙 | | | | |

語群

- ① 狐 ② 蛙 ③ 蚊 ④ 雀 ⑤ 鳥 ⑥ 虎 ⑦ 蛇 ⑧ 馬 ⑨ 猫

問八 次の語句は有名であったり日常使われたりするものであるが、この中には誤った漢字が使われているものが含まれている。正しいものは①で、誤っているものは②で示せ。なお各文頭の番号は解答番号を示す。

- | | | | | | | | |
|----|--------|----|----------|----|--------|----|---------|
| 35 | 一堂に会する | 36 | 快心の作 | 37 | 蹴りをつける | 38 | ご多分に漏れず |
| 39 | 書き入れ時 | 40 | 玉の腰 | 41 | 一卷の終わり | 42 | 新訳聖書 |
| 43 | 抗性物質 | 44 | 国破れて山河あり | | | | |

〔五〕 次にあげる三字熟語の□の中に適切な漢字を入れて三字熟語として完成させよ。答えはそれぞれ①～④の中から一つ選んで答えよ。

a □ 二才	解答番号	45	(1) 幼	(2) 青	(3) 若	(4) 稚	b 草駄 □	解答番号	46	(1) 仏	(2) 神	(3) 天	(4) 地
c 麒麟 □	解答番号	47	(1) 館	(2) 児	(3) 族	(4) 頸	d 千里 □	解答番号	48	(1) 舌	(2) 耳	(3) 目	(4) 眼
e 太 □ 望	解答番号	49	(1) 鼓	(2) 公	(3) 金	(4) 遠	f 登 □ 門	解答番号	50	(1) 華	(2) 山	(3) 竜	(4) 場
g 無 □ 講	解答番号	51	(1) 頼	(2) 銭	(3) 礼	(4) 限	h 未曾 □	解答番号	52	(1) 言	(2) 視	(3) 聞	(4) 有
i 八百 □	解答番号	53	(1) 畳	(2) 八	(3) 嘘	(4) 長	j 摩 □ 楼	解答番号	54	(1) 関	(2) 震	(3) 天	(4) 献

〔六〕 次の文章の()の中に入る最も適当なものを後の語群から選んで答えよ。なお()の中の番号は解答番号を示す。

大正五年になくなった(55)には多くの優れた弟子がいて、森田草平や内田百閒は門下の異才である。晩年に最も若い(56)や久米正雄が入門する。彼らは同人雑誌(57)によりめざましい活躍をするが、同じ仲間菊池寛はひとり京都でかれらの文壇デビューを望見する立場にあった。その時期を材料にした『無名作家の日記』やいわゆるテーマ小説(58)や『恩讐の彼方に』などで菊池寛もやがて頭角をあらわす。その後彼は大衆小説に転じて広い読者を得て、雑誌(59)を創刊して成功させたり、芥川賞、直木賞を創設して社会的活動においてもめざましい成果を上げた。

語群

- ① 三島由紀夫 ② 芥川龍之介 ③ 夏目漱石 ④ 明星 ⑤ 文藝春秋
 ⑥ 新思潮 ⑦ 砂の女 ⑧ 鏡子の家 ⑨ 忠直卿行状記